

神田外語大学 国際日本文化研究センター 京都府立京都学・歴史館共催
企画展「明石博高―京都近代化の先駆者―」の開催

松田 清

はじめに

本企画展は明治初年に京都府の教育・衛生・殖産興業政策を推進した青年医師・官僚明石博高（ひろあきら、一八三九―一九一〇）を初めて取り上げたリアル展示会である。二〇二二年四月一六日（土）から六月五日まで、京都府立京都学・歴史館（以下、歴史館と略す）一階展示室において開催した。府民一般にほとんど忘れ去られた人物にもかかわらず、休館日を除く四六日間に、参観者は延べ二二〇四名の多きに達した。うち、会場アンケート回答者は一一四二名（約五二パーセント）あり、関心の高さが窺われた。

開催の経緯

国際日本文化研究センター（以下、日文研）は二〇二〇年度に企画展「明石博高と島津源蔵―京の近代科学技術教育の先駆者たち―」（同センター主催、本学および島津製作所 創業記念資料館共催）を二〇二一年一月、同創業記念資料館で開催すべく、準備をしたが、コロナ禍のため二〇二〇年一二月、中止のやむなきに至った。そこで、同名の展示図録（国際日本文化研究センター、二〇二二年三月刊）を出版し、図録の内容を電子コンテンツに編集し、同名のオンライン企画展（https://www.nichibun.ac.jp/online/akashi_hiroakira_and_shimadzu

genzo）を二〇二二年三月、同センターサイトに公開した。

このオンライン企画展および展示図録は本誌第一三号（一〇五―一〇六頁）《日本研究所 活動報告》に報告したように、第一章「京都近代科学教育の黎明―洋学の発展と科学知識の普及―」、第二章「明石博高―産業・医療・理化学の先駆者―」、第三章「島津源蔵―科学・技術の研鑽、啓蒙への情熱―」の三章構成であった。

本学および日文研、歴史館が共催した本リアル企画展（企画委員：松田清、フレデリック・クレインス、光平有希）では、オンライン企画展の第一章と第二章を独立させ、2部構成とした。展示品は日本近代医療文化史資料の宝庫である宗田文庫（日文研所蔵）、京都の古書肆伏見春和堂主人若林正治氏（一九二―一九八四）の洋学資料コレクション（本学附属図書館神田佐野文庫所蔵、略称「若林蒐書」）、明石

博高文書（歴彩館所蔵）、二〇二一年三月に利用公開の始まった山本読書室資料（歴彩館寄託資料）から、関連資料を精選し、さらに個人および他機関に出品を仰ぎ、貴重資料の複製写真も参考資料として加えた。

展示構成と出品資料

展示品は延べ一〇〇点余に達した。展示会場の構成と出品資料は以下の通りである。各資料に解説キャプションを添えた。パネルは展示室壁面に掲示した大型パネル（B1およびB0）のみを記した。（参）は複製写真を示す。

「J」あいさつ」（神田外語大学国際日本文化研究センター 京都府立京都学・歴彩館、パネル）

第1部 京の洋学―明石博高活躍の

歴史的背景（解説パネル）

1 二条木屋町地図 三町組作成 文政元年（1818）（解説パネル付き）（若

林蒐書）

1 物を知る（解説パネル）

2 漂流木の実の事 小野蘭山筆断簡
寛政九年（1797）頃（宗田文庫）

3 ドドネウス『草木誌』アントワー
ブ 一六四四年（個人）

3 bis ドドネウス『草木誌』ライデン
一六〇八年 コロヤシ図（pp. 1500-
1502）（神田佐野文庫）

4 ジャワ植物図譜 辻蘭室筆蘭文及
び和訳 宇田川榕菴筆彩色図 コノ

ローニヤ原画 文政元年（1818）六月
頃 キツパイート（着生植物） カンダ

スウリイ（ショウガ科の植物） 図譜
の紙帙（書き判「五升庵」あり）とも

（神田佐野文庫）

4 bis（参） ジャワ植物図譜 複製本
（神田佐野文庫） Manakjeon マナク

チラン図 Manak Doedot マナクドゥ
ット図

4a（参） ラッサマルラ図（複製）

4b（参） ラッサマルラ蘭文解説 辻

蘭室訳（複製）

4c（参） ラッサマルラ蘭文解説（複
製）

2 言葉を学ぶ（解説パネル）

5 四海句双紙初編 玉蕉菴（白川芝
山）編 文化一三年（1816）刊（若林

蒐書）

6 拾遺都名所図会 秋里籬島著 天
明七年（1787）刊 祇園二軒茶屋図

7 訳鍵 藤林淳道（普山）編 文化
七年（1810）刊 乾坤二冊および泰西

薬名を合綴 凡例付録共 二冊 木活
字版（若林蒐書）

7c 凡例付録 訳鍵跋 文化庚午（七
年）季春 海上陳人（随陽）

8 医門須知和蘭語法解 藤林淳道
（普山）著 文化一二年（1815）序

瑞宝堂刊 三柳居杉浦三郎兵衛旧蔵
（若林蒐書）

8a 医門須知和蘭語法解 藤林淳道

- (普山) 著 卷之下 表紙
- 8c 医門須知和蘭語法解 藤林淳道
(普山) 著 卷之中 代言(代名詞) 篇
- 9 医門須知和蘭語法解 藤林淳道
〔普山〕著 文化一二年(1815)序
水玉堂刊(若林菟書)
- 9a(参) 医門須知和蘭語法解 藤林
淳道(普山)著 幕府天文台訳官馬
場佐十郎(貞由、1787-1822)のオラ
ンダ語序文(文化一二年)(若林菟書)
- 9b(参) 医門須知和蘭語法解 オラ
ンダ語序文和訳
- 10 蘭和辞書 零本 伝藤林淳道(普
山)筆 筆写年不詳 一冊(若林菟
書)
- 11 ドゥーフ・ハルマ ヘンドリック
ドゥーフ・中山作三郎・吉雄権之助ほ
か編 文政一一年(1828) 一二月 字
多亥微写 九冊(若林菟書)
- 11b ドゥーフ・ハルマ 第一冊
- 3 理を究める(解説パネル)
- 12 医聖依卜加得(ヒポクラテス)肖
像 桂川国寧(甫賢)筆 文政七年
(1824)(個人)(漢文賛、蘭文賛の积
文パネル付き)
- 13 『ヒポクラテス箴言集』ステファ
ヌス・ブランカールト蘭訳第二版 ア
ムステルダム 一七一四年刊(神田佐
野文庫)
- 14 ヒポクラテス『病気の診断につい
て』『ヒポイセン蘭訳 アムステルダ
ム 一七四一年刊(トマス・シテナ
ム『簡約疾病治療法』『ヒポイセン蘭
訳 アムステルダム 一七四六年刊に
合冊)(京都府立医科大学附属図書館)
- 15 依卜加得(ヒポクラテス)文章一
桂川国寧(甫賢)筆 天保九年(1838)
五月成 筆写本(神田佐野文庫)
- 16 道普法兒馬断簡 広瀬元恭筆写か
安政四年(1857)頃(若林菟書)
- 17 広瀬元恭蔵版印『FLOOCE・
JAPAN』似顔絵入り(若林菟書)
- 18 青山御流活華千瓶図式初編 水谷
有雅著 安政四年(1857)九月刊 錦
章堂蔵版 上冊 紫錦蘭図 広瀬藤圃
(元恭)蘭文賛入り(日文研)
- 19 利摂蘭度(リセランド)人身窮理
書 初篇 誘導篇 広瀬元恭訳 時習
堂蔵版 安政三年(1856)(宗田文庫)
- 20 理学提要 広瀬元恭訳 安政三年
(1856)四月官許 時習堂蔵版(宗田
庫)
- 21 理学入門 J. N. イスフォルデイ
ング原著 安政四年(1857)五月翻刻
福島 信夫古作蔵梓(若林菟書)
- 4 知を広める(解説パネル)
- 22 聞訳私録 近江湖西 河合氏写
弘化三年(1846)(若林菟書)
- 23 Grammatica of Nederduitsche
sprakunks. オランダ語文法和刻本
安政五年(1858)頃刊(若林菟書)
- 24 抜児杜林解剖書 バルトリン原著
子宮図 文久三年(1863)原田迂斎写

- (若林蒐書)
- 25 Model van nieuwsblad of Simbunshio utssi 1862 Isten jan: t nnyac. (新聞紙の写し) 一八六二年一月「ニヤ」刊 (歴彩館寄託山本読書室資料)
- 26 蘭学逕 藤林淳道 (普山) 著 序文 文政七年 (1824) 刊 (若林蒐書)
- 27 和蘭文字早読伝授 田宮仲宜著 天保一〇年 (1839) 刊 折本 (若林蒐書)
- 28 微塵銅版画集 初代玄々堂松本保居刻 四条川原夕涼 嘉永二年 (1829) 正月調之 三野氏 (若林蒐書)
- 29 銅版新鐫極細書画便覧 松田緑山 鉄筆 安政六年 (1859) 汽車図 岡田春燈斎刻 (若林蒐書)
- 29c 銅版新鐫極細書画便覧 松田緑山 鉄筆 安政六年 (1859) 海底ニ沈タル物ヲ取上ル図 (若林蒐書)
- 30 エフベルト・ボイス編訳『新修学芸百科事典』オランダ語版 アムステルダム 一七六九〜七八年刊 一〇冊
ドイケルス・クロッケン (潜水鐘) 図 他 (若林蒐書)
- 31 洋学須知 公莊徳郷・窪田耕夫編 安政六年 (1859) 若山屋茂助他刊 (若林蒐書)
- 32 洋算手引艸 明治四年 (1871) 四月 山本伊三郎銅鑄 自然堂藏版 (若林蒐書)
- 33 掌中洋学童子訓 松岡文橘著 春燈斎英流鑄 明治四年 (1871) 四月序 小川柳影軒編刊 折本 (若林蒐書)
- 34 和英通語 松岡章編 明治五年 (1872) 四月刊 好問堂 (若林蒐書)
- 35 英吉利単語篇増訳 松岡子保訳 明治六年 (1873) 春 小川金助他刊 橋本澄月調刻 銅版 (若林蒐書)
- 36 新曆明解 黒田行元 (麴廬) 著述 明治六年 (1873) 二月刊 (若林蒐書)
- 37 学校専用掌中増補語誦便覧大成 下京第六区 学校藏版 明治六年 (1873) 一〇月刊 折本 銅版 (若林蒐書)
- 38 独逸語階梯 原口隆造編 明治七年 (1884) 石版 春和堂 (若林茂一郎) 刊 (若林蒐書)
- 39 独逸小文典 原口隆造編 明治八年 (1885) 春和堂 (若林茂一郎) 刊 (若林蒐書)
- 40 改正増補独逸文典略訳解 原口隆造編輯 田中廉二訳述 明治二二年 (1889) 春和堂 (若林政吉) 刊 (若林蒐書)
- 40 bis 木の葉文典 English Grammar 文久元年 (1861) 頃 蕃書調所刊 (若林蒐書)
- 第2部 明石博高—京都近代化の先駆者 (パネル)
- 「明石博高の学問」(松田清、B0パネル)
- 「明石博高略年譜」(B0パネル2 枚)

- 1 ポンペによる近代科学教育の創始(解説パネル)
- 43 (参) ポンペ・ファン・メールデルフォールト肖像写真(佐倉市教育委員会)
- 42a ポンペ『日本滞在看聞記(1857)』ライデン 一八六七〜六八年刊
- 42b ポンペ『日本滞在看聞記(1857)』ライデン 一八六七〜六八年刊
- 42c ポンペ『日本滞在看聞記(1857)』ライデン 一八六七〜六八年刊
- 第一冊 口絵(多色石版) 鮑浦(あくのうら) 蒸気船修理工場(製鉄所) 一八六二年五月四日竣工(若林菟書)
- 44 (参) キュンストレーキ(人体解剖模型) パリオズー工房 一八五七年製か(長崎大学附属図書館医学分館)
- 44 bis 紙製人体模型及人体局部模型 定価目録 島津製作所標本部 明治三八年(1905)二月刊(山本読書室資料)
- 45 オズー肖像 石版(個人)
- 46 朋氏解体書 越前勝山藩医学生 秦朴仙筆 仁義礼智信五冊 文久三年(1863)三月一日 佐倉順天堂にて写了 ポンペ一八五七年一月二七日成稿(若林菟書)
- 47 舎密局必携前編 堀江公肅 上野彦馬抄訳 文久二年(1862)刊(産業能率短期大学出版部複製)(宗田文庫)
- 48 薬名アベセ引 坪井信道塾生編 宇田川榛齋校閲 天保五年(1834) 伊藤圭介旧蔵(若林菟書)
- 49 蘭薬名彙 付医事秘用集 書写年不明 奥村裕齋旧蔵 解題 杉浦三郎兵衛筆(若林菟書)
- 50 ポンペ『簡約薬物学提要』一八六二年 出島オランダ印刷所刊(宗田文庫)
- 51 薬性論 庸謨百(ボムベ) 講首・一・二 安政七年(1860)正月序(宗田文庫)
- 52 朋百氏薬論 司馬凌海訳 明治二年(1869)三月刊(宗田文庫)
- 53 朋百氏原病各論 文久元年(1861)一二月写 黒田氏蔵(宗田文庫)
- 54 原病各論 朋百先生口授 松本良順筆記 七冊 蘭疇舎蔵本(宗田文庫)
- 2 明石博高とヘルツ(解説パネル)
- 41-1 (参) 明石博高肖像 静瀾翁明石博高略伝 大正五年(1916)刊 口絵(個人)
- 41-10 海紅亭門人名簿 山本章夫筆(歴史館寄託山本読書室資料)
- 41-3 明石博高履歴明細書案 明石博高筆 明治八年(1895)八月(歴史館 明石博高文書)

- 41-2 博物館寄付品領収証 (歴史館
明石博高文書)
- 41-11 Schwalzenbergplatz. Wien im
Weltausstellungsjahre 1873. 一八七
三年ウィーン万博記念シユウルツェン
ベルク広場図 カラー石版 ウィーン
Ed. ヘルツェル社刊 山本章夫旧蔵
国名所図 (歴史館寄託山本読書室資
料)
- 41-12 埃国名所図収納箱 山本章夫
旧蔵 (歴史館寄託山本読書室資料)
- 41-13 京都博覧会祝文 山本章夫筆
明治五年 (1875) 三月 (山本読書室資
料)
- 41-14 山本章夫書簡 山本秀夫宛
明治五年 (1875) 一月二八・二九日
(山本読書室資料)
- 41-15 博覧会関係印鑑四種 山本藤
十郎 (章夫) 宛 京都府 明治五年
(1875) 二月 (歴史館寄託山本読書室
資料)
- 70 博覧会江品物差出シ方 海外諸客
入京投宿手続書 明治五年 (1872) 二
月 京都博覧会社刊 (若林蒐書)
- 41-4 平野鉉泉考 慶応三年 (1867)
一月八日 硫磺泉 慶応四年 (1868)
四月二九日 明石博高筆 (歴史館 明
石博高文書)
- 41-5 撰州有馬温泉 明石博高筆
定量分析報告書草稿 慶応二年 (1867)
(歴史館 明石博高文書)
- 56 (参) 長崎医学校オランダ人御雇
教師肖像写真 C. G. マンズフェルト
(左) A. C. J. ヴールツ (中央) W.
K. M. レーウエン・ファン・ドイフェ
ンボーデ (右) (長崎大学附属図書館)
- 55 新撰本草綱目 鉱物之部 第壹篇
ヘールツ著 横浜 明治一一年 (1878)
刊 (宗田文庫)
- 57 セリユリエ編『故ヘールツ氏旧蔵
和書目録』ライデン 一八八七年刊
(日文研)
- 58 (参) 覚 若林茂介筆 明石博高
宛 一〇月一五日 (明治七年か) (オ
ランダ国立植物標本館旧蔵)
- 41-6 京都舎密局開業記 A. J. C.
ヘールツ開講演説 明治八年 (1875)
六月一日 (歴史館 京都府史)
- 59 (参) 稲竈鉉泉定性分析表 へー
ルツ・明石博高著 明治五年 (1872)
(版本写真より反転複製) (京都府蔵
京都文化博物館管理)
- 60 (参) HISTORIAE NATURALIS
MUSEUM 立面・平面図 明治八年
(1875) 頃 (京都国立博物館 重要文
化財旧帝京京都博物館建築 89-19)
- 61 (参) 博物館新造内景尺度 へー
ルツ氏製作 明治八年 (1875) 年頃
(京都国立博物館 重要文化財旧帝国
京都博物館建築 89-24)
- 3 明石博高と舎密局 (解説パネ
ル)
- 62 ギラルジン『教養人・工場のため
の化学』第一卷 無機化学 ハウダ
一八五一年刊 明石博高手沢本 (若林

- 63c 明石博高旧蔵金属標本 カドミウム板
 鉛 (宗田文庫)
 64 地金合方 ワグネル氏口授 明治一八年 (1888) 東陽堂刊 (宗田文庫)
 64 bis ワグネル伝 植田豊橋編 大正一四年 (1925) 口絵写真 (個人)
 65 開化節用集 宇喜田小十郎輯 明治八年 (1873) 一二月刊 (若林菟書)
 66 (参) 京都舎密局 夷川土手町 (写真) (歴彩館)
 67 (参) 京都舎密局麦酒醸造所 (写真) (歴彩館)
 68 (参) 鉄具製工場 (伏見鉄工場) (写真) (歴彩館)
 41 静瀾翁明石博高略伝 明石厚明編 大正五 (1916) 明石博高著作リスト (部分) (個人)
 63a 明石博高旧蔵金属標本 錫 (宗田文庫)
 63b 明石博高旧蔵金属標本 純錫 (宗田文庫)
 41-7 官有地拝借願控 付図宇治川堤防地 (歴彩館 明石博高文書)
 41-8 伏見製作所退社届 (歴彩館 明石博高文書)
 69 (参) 集書院 明治六年 (1873) 一二月頃 姉小路通東洞院東入 (写真) (歴彩館)
 71 ネットー、ワグネル『日本のユーモア』ライプチヒ 一九〇一年刊 (日文研)
 72 理化新説 ハラタマ氏述 明治二一年 (1886) 大阪 舎密局刊 (宗田文庫)
 73 呼吸機病論 大坂医学校教師和蘭医官 抱独英氏 口授 (宗田文庫)
 74 菩烏度英 (ポードイン)・啞門士 (エルメレンス) 方府 (宗田文庫)
 75 天刑病論・別里々々論 抱氏口授 (宗田文庫)
 76 入院患者方剂録 芳村篤記録 明治二年 (1869) 写 (宗田文庫)
 77 嗜氏生理記聞 善度英氏口授 京都書林 合書堂蔵 明治七年 (1874) 刊 (宗田文庫)
 78 日講紀聞 和蘭医官抱独英 (ポードイン) 氏口授 大学東校官版 鳥霞谷発明活版 (宗田文庫)
 4 明石博高と近代医療 (解説パネル)
 79 全盛廓賑ひ 橋本周延画「黴毒検査所」図 錦絵三枚続の内二枚 (宗田文庫)
 80 (参) 創立当時の京都府立療病院 (写真) (歴彩館)
 81 京都府布令書癡狂院設立通達 (宗田文庫)
 82 ヨンケル『瑞穂草』ライプチヒ一八八〇年刊 (日文研)
 83 ヨンケル『扶桑茶話』ウイーン一八八四年刊 (日文研)
 84 辟邪螢火丸 秋葉秘伝 明石博高旧蔵品 (宗田文庫)

- 85 流行病除 馬杉施葉 明石博高旧蔵品(宗田文庫)
- 86 養生訓蒙 神戸文哉編纂 京都療病院蔵 明治十一年(1878)一月刊(宗田文庫)
- 87 病理略論 満斯歇兒篤(マンスヘルト)氏口授 大学東校学舎開鑄 島霞谷發明活版(宗田文庫)
- 88 胥乙邊(シヨイベ)氏常用方鑑 江阪秀三郎訳 神戸文哉校 京都療病院蔵 明治十二年(1879)七月(宗田文庫)
- 89 脚氣病論 慕都胥乙邊(ポートシヨイベ)氏原著 江坂秀三郎・武部隆太郎・半井澄(なからい・さやか)訳 京都府立療病院蔵版 明治十七年(1884)(宗田文庫)
- 90 シヨイベ『熱帯病論』増補第四版 イエナ 一九一〇年刊 ペスト菌の塗抹表本図(日文研)
- 41-9 私立病院設立願 明石博高筆 明治十六年(1883)三月十七日(歴彩

館 明石博高文書)

- 91 明石博高診療処方録 明石博高筆 明治十六年(1883)~四〇年(1907)二三冊のうち(宗田文庫)

展示関連刊行物

左記の冊子三点を刊行し、展示会場において、参観者に配布した。

- 『企画展「明石博高―京都近代化の先駆者―」(国際日本文化研究センター、二〇二二年三月二〇日発行) B5判、三五頁。オールカラー図録。

『企画展「明石博高―京都近代化の先駆者―」展示資料目録』(神田外語大学附属図書館、二〇二二年四月一六日発行) B5判、一二頁。キャプション解説付き目録。

『若林コレクシヨンの里帰り―神田佐野文庫貴重資料―』B5判、一八頁。オールカラー図録。第一部に、本企画展に神田佐野文庫から出品した三六点を収録。第二部に、神田佐野文庫の貴

重資料五選として、葛飾北斎『画本東都遊』(1800)、大黒屋光太夫筆ロシア文字「福寿」(1810年代)、一八一五年ナポレオン戦役銅版図・記念メダル(1816年頃)、桂川甫賢筆「長崎屋宴会図」(1822)、シーボルト筆賀来佐之宛蘭文書簡(1828)の精細カラー写真と解説文を掲載。

企画展記念行事

本企画展を記念して、左記のシンポジウム(神田外語大学 国際日本文化研究センター 京都府立京都学・歴史館共催)および学生交流プロジェクト(神田外語大学主催)を行い、シンポジウム来場者は関係者を除き、二二五名を数えた。また、学生交流プロジェクトは本学学生五名、京都外国語大学学生四名、計九名が参加し、企画展参観およびシンポジウム聴講で得た体験と知識を各自積極的に発表し、相互交流を深めた。

共催企画展「明石博高―京都近代化の先駆者―」開催記念シンポジウム日時 二〇二二年五月二一日(土)会場 京都府立京都学・歴史館大ホール

挨拶 井上章一(国際日本文化研究センター)所長 佐野元康(神田外語大学理事長)

話題提供「明石博高とヘールツ―本章から舎密へ―」松田清(神田外語大学客員教授)「市井の医師明石博高」光平有希(国際日本文化研究センター特任助教)

パネル討論 司会 松田利彦(国際日本文化研究センター副所長) パネラー フレデリック・クレインス(国際日本文化研究センター教授) 町田明広(神田外語大学准教授) 松田清

(神田外語大学客員教授) 光平有希(国際日本文化研究センター特任助教)

パネル討論に先立ち、フレデリック・クレインス「明石博高の実践的医学・化学のルート―ユトレヒト軍医学校とお雇い外国人―」、町田明広「幕末の明石博高」の発表があり、活発なディスカッションが行われた。

神田外語大学京都企画展学生交流プロジェクト

二〇二二年五月二一日(土) 午後 企画展参観・記念シンポジウム聴講。

五月二二日(日) 午前九時三〇分―一時二〇分 歴史館小ホールにて「明石博高の人と時代を語る」をテーマにディスカッション(司会 益満まを 京都外国語大学非常勤講師)。同日午

後一時三〇分―三時 町田明広、松田清、光平有希、益満まを、神田外語大事務担当者の引率のもと、ルートマップ(松田清作成)に従い、鴨川・高瀬川沿いの明石博高史跡を散策。

なお、本企画展に関連して、国際日本文化研究センター総合情報発信室では、光平有希、松田清の協力のもと、銅版『京都府区組分細読書室資料衛門刊、宗田文庫蔵』を利用した『明石博高史跡マップ』を五月一六日、記念シンポジウム当日に発行し配布。また、二〇二二年九月三〇日、Web版『明石博高史跡マップ』(解説文付き、<https://stoly.com/viewer/1659403020?zoom=3>)を同センターWebサイトに公開した。